

# 倉敷芸術科学大学紀要

## 第 10 号

### 目 次

【芸術系】	1
神原 正明：ワイルドマン伝説（1）中世末期におけるイメージの変容	3
近藤 研二：感性情報を利用したヒューマンインターフェイスモデルの研究	15
鈴木まどか：古代エジプト絵画技法・材料の解明（I） — 文化学園服飾博物館所蔵の葬祭用亜麻布に描かれたオシリス胸部部像断片の 2002-2003年度調査・復元模写 —	23
平野 重光：当世書生氣質—学生アンケートより	35
森田 亜紀：技術における創造性——行為と素材のあいだから——	47
【理工系】	57
浅川富美雪・呉羽 晃徳・實成 文彦：労働衛生管理における生物学的モニタリングの活用事例	59
枝松 千尋・飯田 智行・宮川 健：屈伸運動における伸張性収縮調節能力の加齢変化	69
遠藤 佳紀・安田 大輔・梶浦 文夫：ゲーム型学習支援システムの試み	77
川上 雅之・枝松 千尋・李 淵・細川 博・岩崎 英人・岡本 將資： 歩数の相違が運動代謝に与える影響	83
河邊誠一郎・高崎 浩幸・中村 康弘・三宅 誠治：絶滅危惧I類：新見市草間地区の <i>Melitaea regama Fruhstorfer</i> （ウスイロヒヨウモンモドキ）の現状及び生息環境の 保全と繁殖	93
妹尾 護・三輪 英之：広島県東部，芦田川水系の河川堆積物の重金属元素分布	105
渡辺 守：Separation graphs and their plane spanning subgraphs	115
【人文・社会系】	123
小原 律子：留学生の自律的学習を目指した日本語教育実践—プロジェクトワークを通して—	125
唐川 千秋：Maslowの「自己実現」概念への問題提起	135
黒田 明雄：日本型国際理解教育の方向性と学習領域に関する一考察	147
小山 悦司：社会体験活動のカリキュラム化に関する一考察 —大学教育改革における新たな可能性を求めて—	159
趙 慧欣：“別1”“別2”“別3”和“ないで”“ないように”的用法（1）	169
原 旭：イラクの再建はどうなっているか — 再建への政治の動きと国内治安情勢を中心として —	179
藤高 邦宏：英米文化の背景「英米人の迷信・俗信」考（13）Ⅳ 年中行事—その2 聖ヴァレンタイン祭とそのルーツ・聖アイヴィッド祭とリーキ・アイルランド人 の聖パトリック祭・節欲の四旬節・懺悔節火曜日とパンケーキ	189
山下 景秋：途上国に対する岡山の国際協力・貢献産業（I）—産業成立の可能性と支援策—	199

山本 健治・水田 直美・土井 佳彦：携帯メールを利用した留学生に対する日本語指導の 実践報告～日本語能力試験1～2級合格者に対する表現力指導の効果について～	211
渡辺 肇：オーストリア「皇太子」の日本訪問（2） フランツ・フェルディナントの訪日日記《1893(明治26)年8月2日～24日》（その2）	221
植木 利彦：The Comedians について — 変装の役割 —	231
河野 正英：職務発明における特許権の帰属と相当の対価について（下）	239
〔学内外活動の記録〕	251